

西小っ子だより

【校訓】 直く 正しく 美しく

たつの市立揖西西小学校
〒679-4023
たつの市揖西町住吉142番地
Tel 0791-66-0021
Fax 0791-66-2613
発行責任者 校長 新家 洋一



卒業、修了おめでとう



明後日3月21日(金)は卒業証書授与式で、49名の卒業生が本校を巣立ち、4月には中学校へと進学していきます。また、週明けの24日(月)は修了式で、1年生から5年生までの児童がそれぞれの学年の教育課程を修了し、4月には1つ上の学年へと進級します。全校児童249名が、それぞれ新しいステージへステップアップしていきます。子どもたちのこの1年間の成長を褒め、来年度以降のさらなる飛躍を期待し、「卒業、修了おめでとう」と、心から称えたいと思います。

地域・保護者のみなさまには、本年度もまた、揖西西小学校のために何かとご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。とりわけ、お子さまとともに小学校PTAを卒業される方々には、長年お世話になり、本当にありがとうございました。揖西西小学校を巣立っていく卒業生の前途に幸多からんことを祈念するとともに、新しい学年に進級する在校生と新たに揖西西小学校児童となる新入生の今後の活躍を願いつつ、感謝とともに、今年度の「西小っ子だより」を締めたいと思います。1年間たいへんお世話になりました。来年度も、西小っ子たちを温かく見守ってくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

森の木のつばやき Vol.24

~健康の森から、いつも西小っ子を見つめている森の木のつばやきです~

令和6年度がもうすぐ終わるよ。みんな、次の学年に向けて準備はできているかな。4月からの新しい学年で、さらに成長できるようがんばろう。さらにレベルアップしたところをみんなに見てもらおうね。

この一年間、みんなよくがんばったよ。1年生は、先生のお話をしっかりと聞けるようになったし、漢字交じりの文章を読んだり書いたりできるようになった。6年生は、学校のリーダーとして、全校朝会や終会での司会・進行、児童会集会活動の企画・運営に力を尽くしてくれたね。2年生から5年生の人たちも含め、西小っ子全員が、それぞれの学年で、勉強や学校生活全般に一生懸命取り組んで、ずいぶんと成長したね。森の木は、そんなみんなの様子を、健康の森から嬉しい思いで見えていたよ。この調子なら、きっと新しい学年でも大丈夫だって思っているよ。

春休みの間に、令和6年度を振り返って、新年度の目標を立てておこう。令和7年度のみなさんにも期待しているよ。応援しているからね。

春休みの間に、令和6年度を振り返って、新年度の目標を立てておこう。令和7年度のみなさんにも期待しているよ。応援しているからね。

(今年度最後の「つばやき」でした。これまでありがとうございました。森の木)



夢は大空に 努力は足元に 瞳輝く 元気な西小っ子

《2月17日(月) 3年「クラブ見学」》

4年生以上で実施しているクラブ活動の様子を3年生が見学しました。6年生から、どのような活動をしているか紹介もあり、どのクラブがいいか友だちと会話するなど、来年度に向けて楽しみが一つ増えたようです。



《2月26日(水) 2年「図書館訪問」》

龍野図書館に行きました。書棚の説明を聞いたり、お話の部屋でストーリーテリングをしていただいたりしました。最後に、2冊ずつ本を借りました。これを機会に、これまで以上に、読書に興味を持ってほしいと思います。



《2月26日(水) 4年「砂防ダムと災害対策の学習」》

現在、住吉地区内で砂防ダム建設工事が進められています。その関係もあって、龍野土木事務所のみなさまから、土砂災害発生の仕組みや砂防ダムの構造等について、映像や大型模型(写真参照)を使って教えていただきました。実際に災害対策工事に携わる方のお話や、精巧に作られた模型を使っての実験をとおして、災害対策についてより深く学ぶことができました。子どもたちからの質問も多く、その意欲的な姿勢に、土木事務所の方々が感心されていました。



《2月27日(木) 6年「人権学習」》

小学校6年間の人権学習のまとめとして、さまからお話を伺いました。今なお続く戦争、ネットいじめなどのSNSの悪用、誘拐した人を強制的に働かせる国際的な詐欺集団等、繰り返し報道されている事件に触れながら、そういった人権侵害のない世の中、みなが幸せに生きていける世の中にしていくためには、人権学習を続けることが大切だと教えていただきました。



《2月5日(水)・14日(金) 6年「布勢公園の清掃」》
《3月5日(水) 6年「校舎内の床・壁面修復」》

家庭科の「共に生きる地域での生活」の学習で「地域でできることは何だろう」と話し合い、普段よく遊んでいる布勢公園とそこに至る道路のゴミ拾いをしようという決め、学級ごとに2日に分け実行しました。1回目は14Kg、2回目は12.2Kgと大変多くのゴミが集まりました。自分たちの住む地域の美化に微力ながら貢献することができたと、子どもたちも喜んでいました。



また、卒業前に学校を美しくしようと、校舎内の床と壁の塗料が剥がれている箇所の修復をしてくれました。

《3月12日(水) 1・2年「本の読み聞かせ」》

「テクテク」のみなさんによる今年度2回目の読み聞かせでした。拍子木や尺八の生演奏付きの紙芝居や電子黒板に拡大映写しての絵本の読み聞かせ等、お話の世界を楽しめるよう工夫してくださり、おかげで素敵なひとときを過ごすことができました。



《3月14日(金) 児童会「6年生と最後のハッピー会」》

5年生が中心となって実施する初めての児童会集会活動です。アイデアいっぱいの学年ごとの出し物やプレゼント、楽しい雰



囲気に包まれたゲーム等、感謝の気持ちがよく伝わってくる素敵な会でした。

《表彰》～受賞者のみなさん、おめでとう(敬称略、数字は学年)～

★人権文集「ひかり」作品掲載

作文： 標語：
カット(イラスト)：

★文集「風の子」作品掲載

詩：

★子育て体験文集「はばたけ子どもらよ」作品掲載

子どものつぶやき

★しきなみ子供短歌コンクール

入選：

★子供の詩 有本芳水賞

金賞：

★粒坐天照神社天神祭書道展

金賞：

銀賞：

銅賞：

★ひょうご2024子どもの詩と絵

詩の部入選：

絵の部入選：

★小中学生年賀状コンクール

奨励賞：

★たつの市スポーツ少年団総合競技大会バレーボール競技

6年生以下の部第3位：揖西東バレーボールクラブ

5年生以下の部第3位：揖西東バレーボールクラブ

4年生以下の部準優勝：揖西東バレーボールクラブ

[本校所属児童...]

★たつの市スポーツ少年団総合競技大会剣道競技

個人戦小学3・4年生の部第3位：

★近畿小学生選抜インドアソフトテニス大会

研修大会女子団体戦優勝：兵庫C

[本校所属児童...]

★KING OF DEER vol.3 (スケートボード)

オープンクラス小6以下第2位：

燃える樹

みずかみかずよ

今月の詩—ぜひご家族と一緒に、お読みください

樹も人もおもう心は同じ
春には若葉でわらい
夏には茂ることですすしい
秋にはもみじした葉が
美しく舞うし
冬には
すっぱりはだかになって
自分を見つめる
寒風にふるえながらも
地底のあしうらから
天をさすほそい指さきへ
いくすじにもわかれて
たちのぼる
いのちのぬくみをだいている

どっしりと
根をおろしたまま
もうどこへも
行けない
樹は樹であることを生きている
ふかく足をふんばり
たかく胸をふくらませ
ひろく腕をのばしながら
百年も千年も
いのちを
ふかめてきた

くらやみに
しんといてついて
立つ樹
無心な樹よ
芯で燃える

「樹の心」・「樹」・「燃える樹」と「樹」をテーマにした詩を、一月から続けて紹介してきました。どの詩の樹も、まるで人間のように感情があり、力強く生きていますね。そのよくな姿に何か感じるものはありましたか。自身を樹に例え、どのように花を咲かせ、梢を伸ばし、葉を生い茂らせようかと考えたでしょうか。
みなさんが一つ上の学年で、どのように活躍してくれるか、とても楽しみます。

今月の詩II ― ぜびご家族と一緒に、お読みください

ぼくは何を

××小学校五年

△△△

ぼくは何をもっているのだろう。落ちこんでいるとき、いつも考えることだ。でも結局、何をもっているかが分からないままだ。勇気もないし、すなおでもないし、たいして賢くもない自分の問いに自分で答えられるのなら…。そんなぼくが、この詩と出会ったのは、つい昨日のことだ

ぼくは何を

まど・みちお

ぼくは 何をもっているのだ
やさしさなら お母さんがもっている
勇気なら お父さんが
すなおなら ポチが
賢さなら 先生がもっている
がまん強さなら 冬のムギが
勤勉さなら 夏のア리가
そして 美しさなら
道ばたの一本のタンポポがもっている

△△△は、作者である児童の名前。実際には、名前が書かれています。

「○○なら、△△△がもっている」と言えるものがほしい。でも、思いどおりにうまくできるといふものが、何もない。自分の無力を、すごく感じる。けれど、二連を読んで分かったような気がする。

で ぼくよ 何をもっているのだ
いつも後で しまったと思う
おつちよちよいと
だれにも負けたい いたずら心のほかに・
笑うなかれ!
希望だ・
やさしくて 勇気があつて
すなおで 賢くて
がまん強くて 勤勉な
美しい心
に ぼくを少しでも近づけたいという・

べつに、勇気がなくても、すなおでなくても、賢くなくてもいい。そんな心に少しでも近づければいいんだ。今、そうでなくてもいい。大きくなったとき、

「○○なら、△△△がもっている」と言えたらいいんだ。ふうつ、まあこれでよく分かった。少しほっとしたぞ。まどさんは、最後にこう書いている。

笑うなかれ!

という ぼくよ
自分で笑っちゃ サマにならぬぞよ!

ぼくは、自分を笑わない。美しい心に少しでも近づきたいからね。まあ、がんばってみようかな。

私は、担任していた頃は毎年欠かさず、「今週の詩」と題して、毎週、詩を一編ずつ、子どもたちに紹介してきました。まど・みちおさんの「ぼくは何を」は、高学年を担任すると必ず紹介していた詩の一つです。上の詩は、その「ぼくは何を」を紹介したときに、それを受けて作られました。なお、作者である児童の意図により、まどさんの「ぼくは何を」は、蓮ごとに三カ所に分けて、四角囲みで記載されています(太字にしています)。

実は、この詩が書かれたのは、作者である児童の母親が病床にあったとき。それからおよそ一ヶ月後、母親は逝去されました。そういった状況の中で、この児童は自身を見つめ、一生懸命考えて、この詩を作りました。我が子の将来を見ることがかなわない母親への最後の贈り物、決意の詩です。つらい気持ちを押し隠して、最後の一文のように気負わない、どちらかと言えば明るい印象を与えるようなこの詩は、たいへんな秀作だと思っています。三十年ほど前の作品ですが、今なお忘れられないことのできない子どもの作品の一つです。

文を書けと言われても、なかなかすぐには書けません。それは、やれと言われてできるものではないからです。三十年前のこの児童のように強い思いがあるとき、先生や親に話したい出来事があったとき、「伝えたい思い」が書かせるのです。

実際に文を書く・書かないは別として、茜小っ子のみなさんには、ぜひ「伝えたい思い」をたくさん持ってほしい。そのためにも、いっぱい遊んだり体験学習をしたり、いろいろな経験をしてほしいと、私は心から思っています。



職員室から



～揖西小学校の教育方針等をお伝えします～

★「よりよい学校づくり・人づくりのために」アンケートに関して

標記のアンケートを12月に実施させていただいたところ、ご多用中にも関わらず、ご回答いただきありがとうございます。中でも、自由記述の箇所には、教員に対する感謝や激励の言葉が多数書かれており、教員はみな、これを励みに今後も本校教育の推進に取り組んでいこうと話しているところです。また、自由記述の中には、今後の学校運営に関わる提言や質問もありますので、その中で、

- ・学校以外の各種団体が主体であり、学校単独で回答できないもの
- ・個人が特定されるおそれのあるもの
- ・具体的な事柄についての提言・質問ではないもの

以外の提言と質問について、学校評議員会での検討も加え、下記のとおり回答いたします。なお、よく似た提言・質問を一つにして短くまとめておりますので、ご了承ください。

(1) 連絡について

4月の懇談(家庭訪問)の日程を知らされるのが遅すぎる

今年度の家庭訪問については昨年2月22日発行の、来年度の個別懇談については今年1月25日発行の、共に「西小っ子だより」で期日についてお知らせしました。詳しい時間については、クラス編制が確定してから、最速で入学式の日にお知らせすることになります。これ以上早くすることは困難です。また、4月当初の懇談をもっと遅くすることは、意味がありません。期日をお知らせした段階で、実施日の午後懇談を予定しておいていただきたくお願いいたします。

学年が上がってもそのまま使用するものは早めに伝えてほしい(植木鉢の土)

学年を超えて使用するものとしては、一部の教科書、書写道具、算数セット、絵の具セット、リコーダー、鍵盤ハーモニカ等がありますが、年度末に、それぞれ「学年だより」等でお知らせしますので、ご確認ください。それ以上早くお知らせすることは、却って「忘れる」などのリスクがあると考えます。なお、質問の「植木鉢の土」については、1年生と2年生で使いますが、春休み中に持ち帰ることはしません。ちなみに夏休み前に持ち帰り2学期に持ってきてもらっていることに関しては、今年度であれば、持ち帰っていただく日より前の7月5日付「学年だより」で、お伝えしています。

行事の際の持ち物について、もう少し説明がほしい

平素より、分かりやすいお知らせになるよう努めていますが、不十分であるところのご指摘だと真摯に受け止めています。学年ごとの配布物については、すべて管理職の確認を経たものです。改めてチェック機能を強化したいと存じます。

(2) 学習指導について

人権教育に過度に力を入れているように感じる

昔から取り上げられている人権課題に加え、いつ子どもたちの身の周りで生じてもおかしくはない「いじめ」、「インターネット上の誹謗・中傷」、「様々なハラスメント」、「虐待」、「性自認・性的指向に係る人権課題」等の人権課題が、ここ10年ほどで大変増えてきています。子どもを被加害者にならないためにも人権教育は重要です。

そこで近年本校では、教育課程(カリキュラム)を作成したり行事計画を立てたりする際、「人権の視点」を強く意識するようにしています。昔と同様に学習・行事等を実施しても、「人権の視点」を強く打ち出しているぶん過度に力を入れているように感じられるのかもしれませんが、今後も、カリキュラムに基づき人権教育を進めていきます。

- ・宿題が少ないように感じる
- ・平日の宿題は無しにし、土日は作文を書いてほしい

宿題については、両極端なご意見がありました。学校では今後の学習教材としてAIDリルの活用を検討しており、宿題についても、併せて考えていくことにしています。

(3) 施設に関すること

校地内・校舎内に誰でも簡単にに入れてしまう

この件については防犯上の問題として、学校からも、PTA、さらには地域からも改善の要求をしています。昨年度も記載しましたが、施設改修については、限られた予算内で優先順位を決め、市の方で順次実施していただいております。昨年度に防犯カメラが設置されましたが、そういった条件の中で、できる対策として、避難訓練や教員の防犯訓練を、様々な状況を想定して実施しています。なお、運動場南東角からの進入路とプール東側からの進入路については、実は里道としてつながっており、門扉を取り付けることはできません。

(4) 不登校対策について

不登校の実態について説明してほしい

本校にはサポートルーム「はあとふる」があり、担当教員も配属されています。教室に入りにくい児童が利用できます。また、スクールカウンセラーへの相談も可能です。関心のある方は担任にお尋ねください。なお、当然のことですが、個人情報保護の観点から実態をお伝えすることはできません。

(5) その他

休み時間や給食・清掃の時間の参観もしたい

検討します。ただ、給食については、衛生上の問題やアレルギー対応上の課題があり、難しいかもしれません。

【昨年度も出された提言・質問】

- ①児童の挨拶 ②2学期以降の個別懇談 ③学習の直し

①については、学校での指導はもちろん、各家庭での平素からの躰、保護者・教師等身近な大人の姿勢等が大切だと考えます。足並みをそろえて指導していきたいと考えます。

②については、2学期以降希望される方(学校からの希望も含む)との懇談を随時実施していますので、担任にお申し出ください。相談の上日時を決め、実施したいと思います。

③については、できるだけ休み時間を確保してやりたいと思っています。ただ個人差がありますので、指導要領の趣旨(個別最適な学習の推進)に則り、どのように「直し」をさせるか、保護者とも相談しながら進めていけたらと考えます。

【学校以外の団体との関連があること】

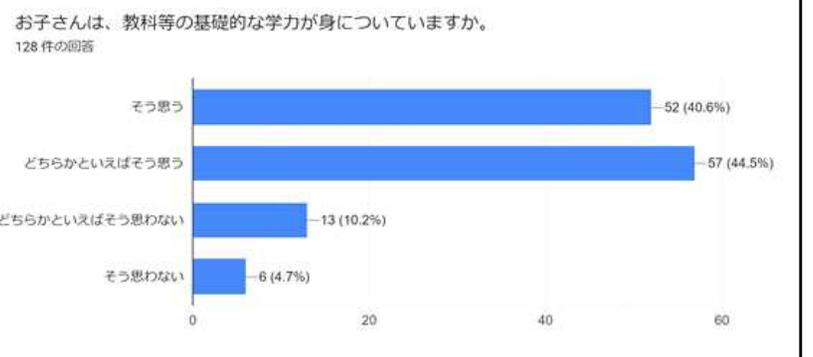
- ①PTA活動 ②地区訪問継走

①については、PTA会長さん、副会長さんに伝えました。

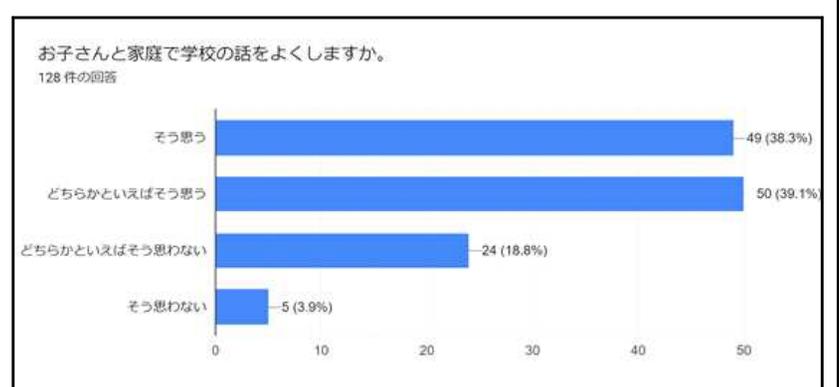
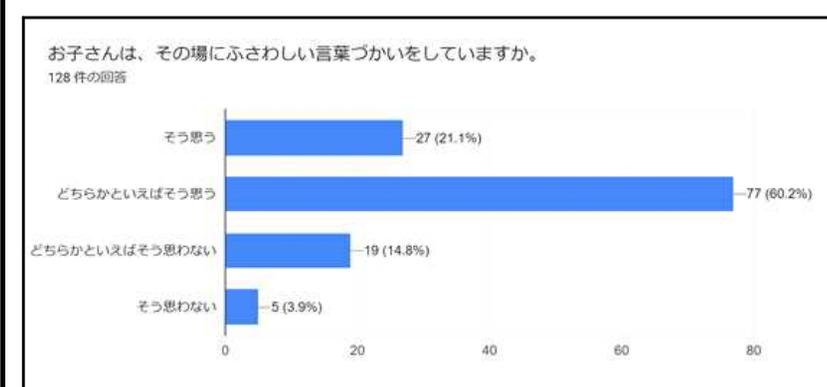
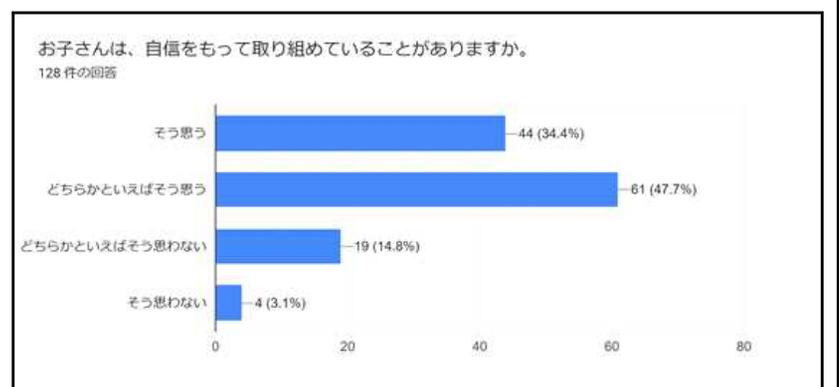
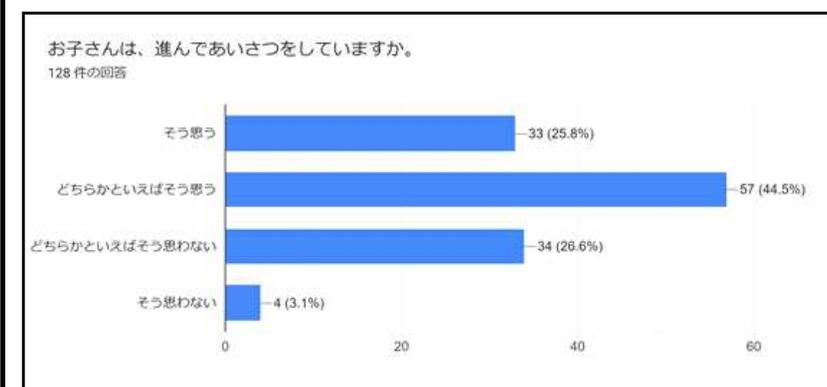
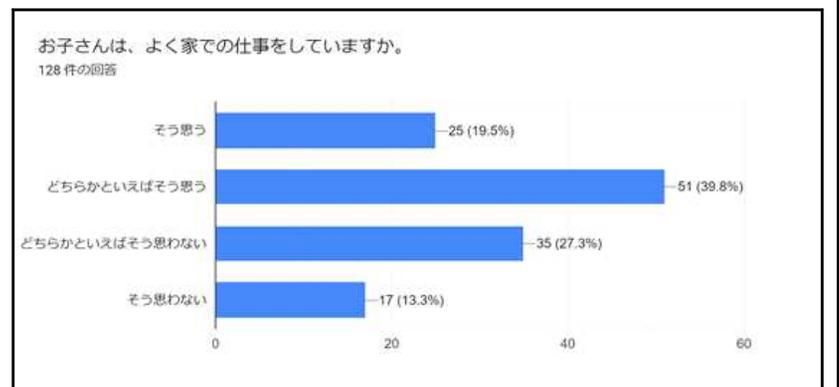
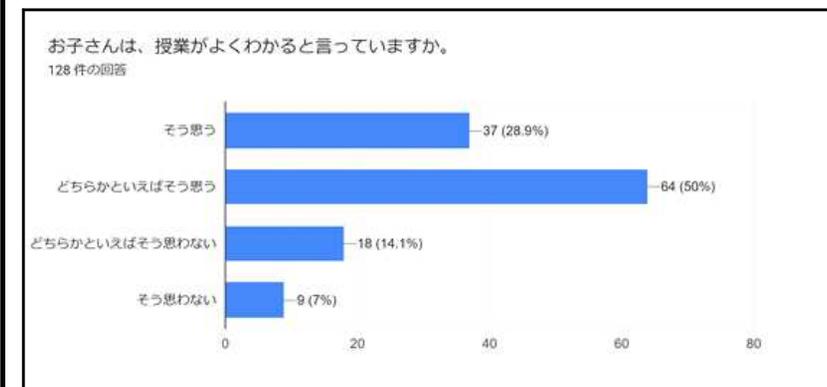
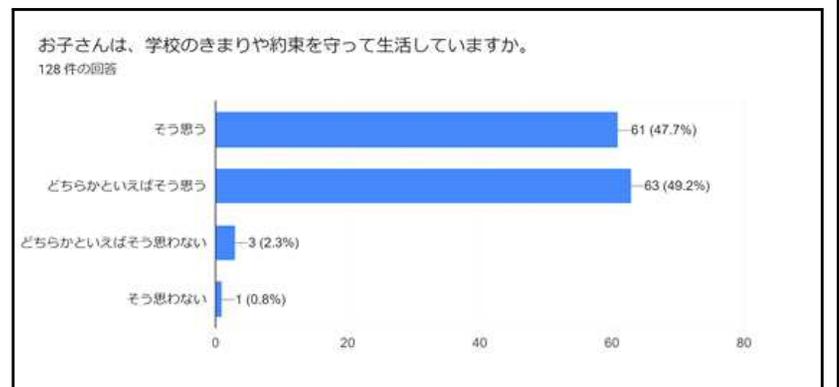
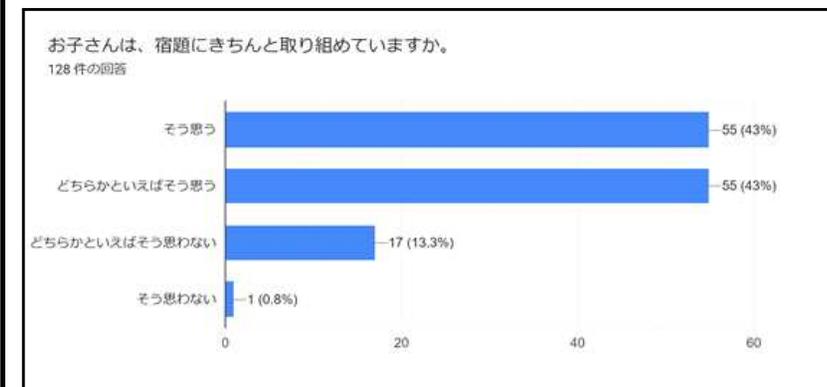
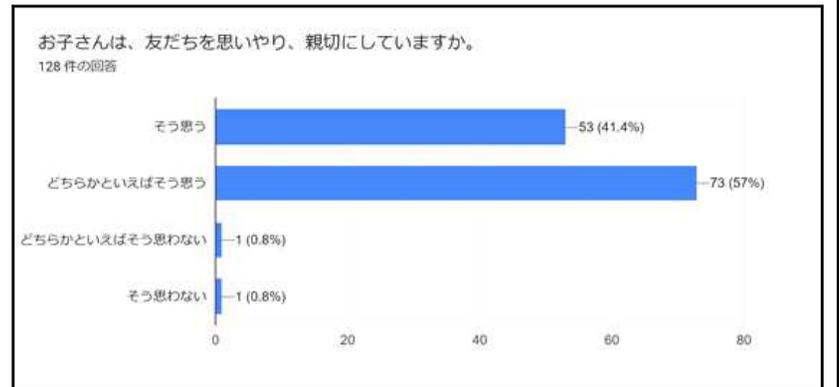
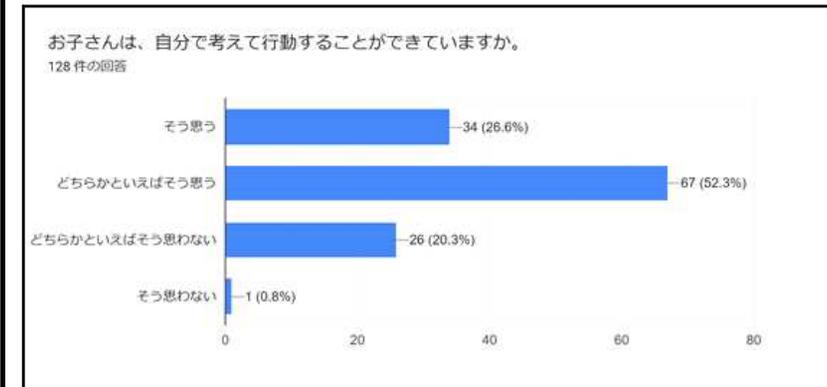
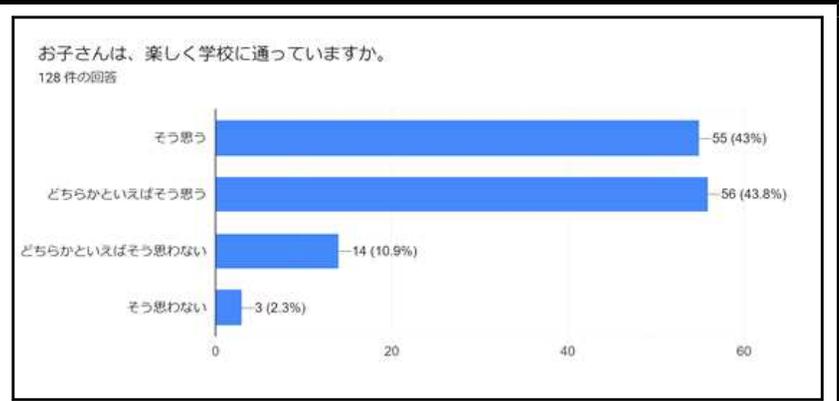
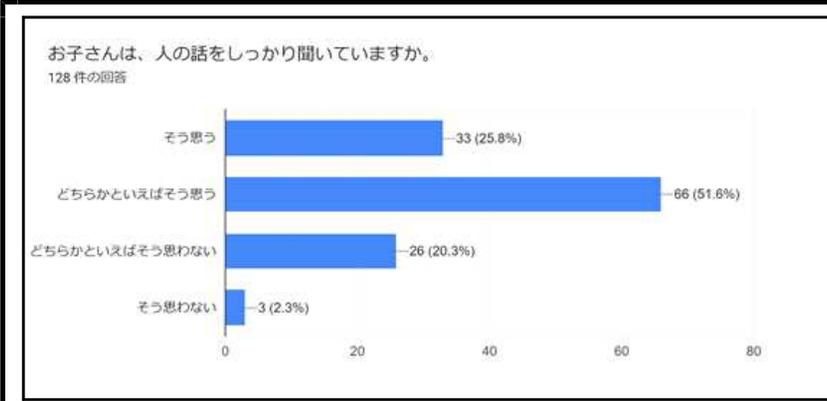
②については、スポーツクラブ21の役員さんや事務局に伝えました。なお、活動の趣旨や歴史、学校としての考え等については、1月7日付「西小っ子だより」を参照してください。

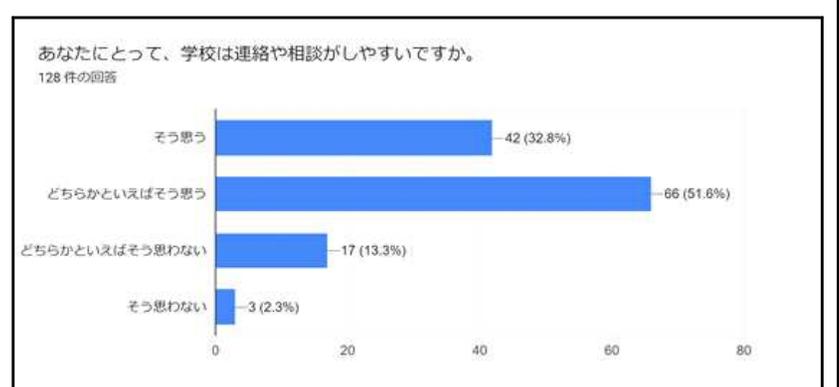
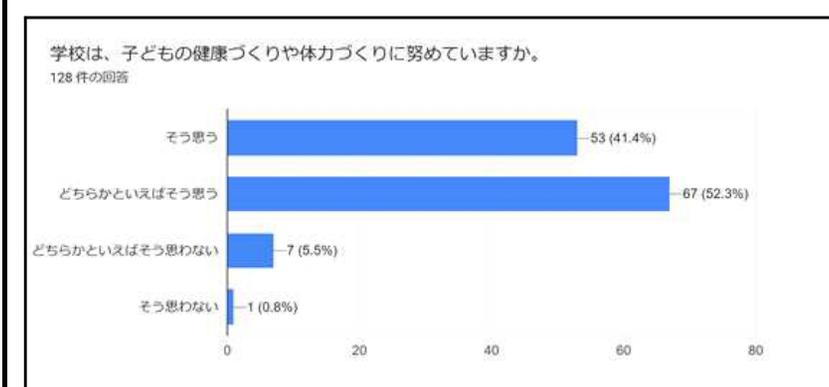
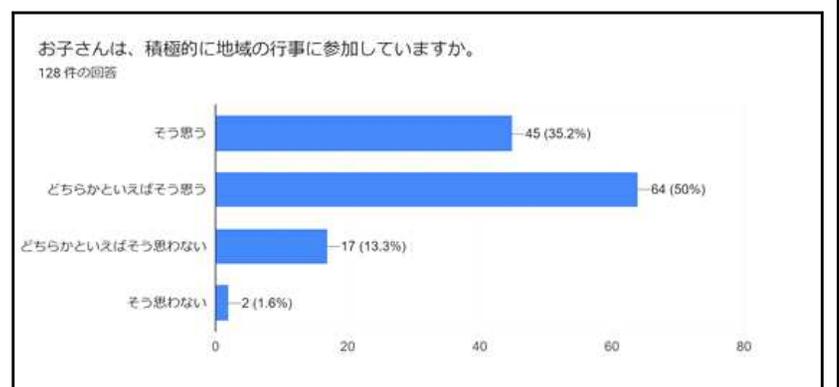
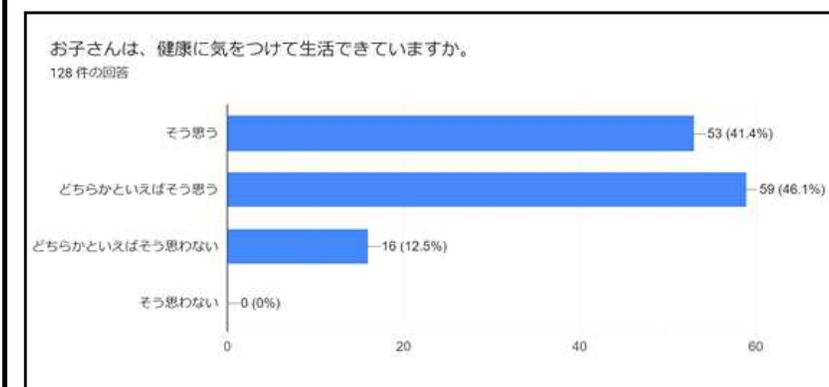
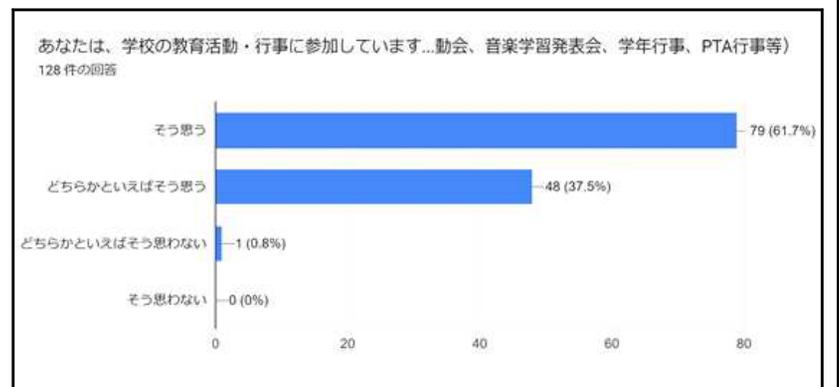
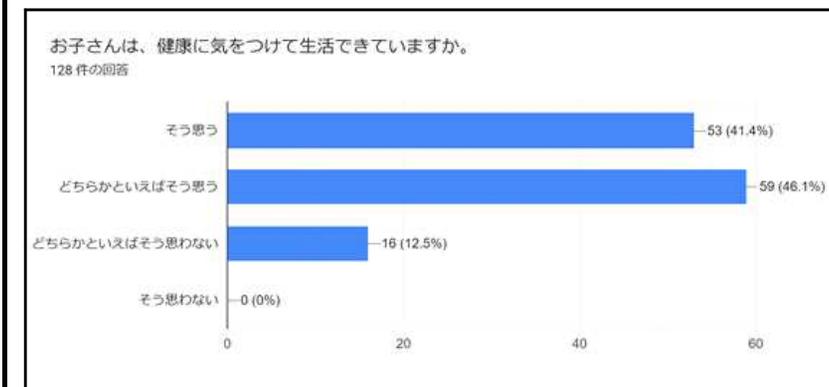
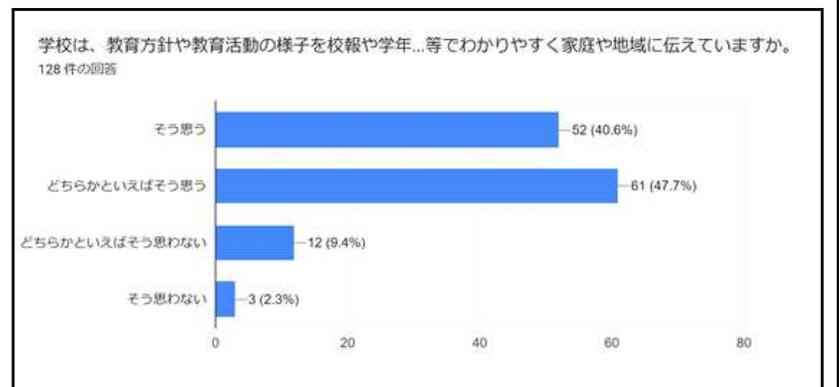
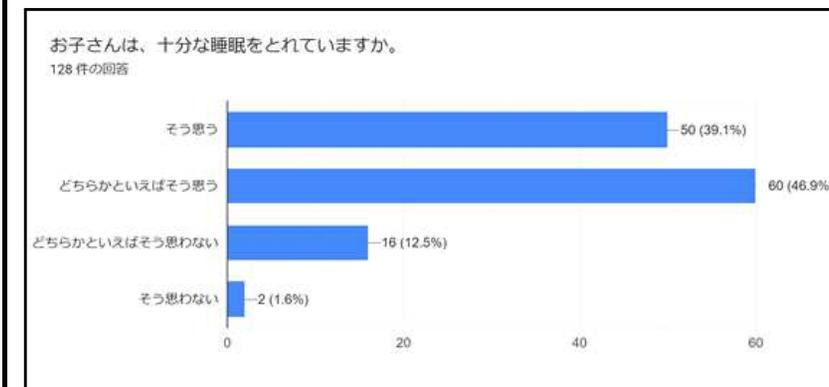
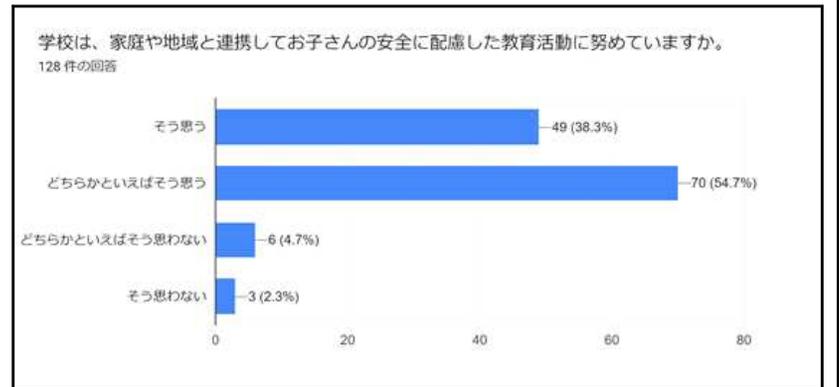
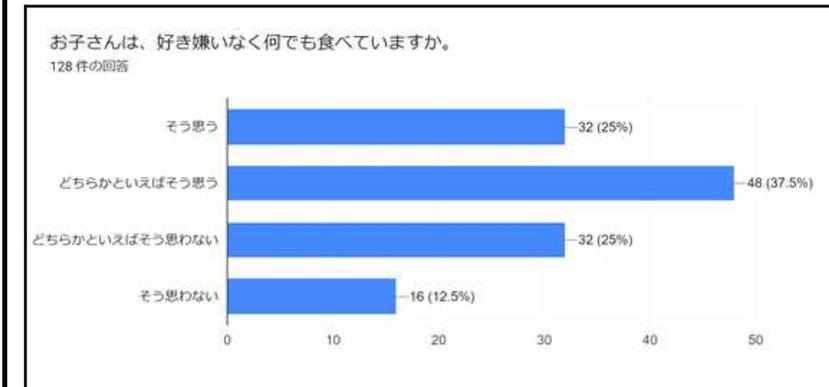
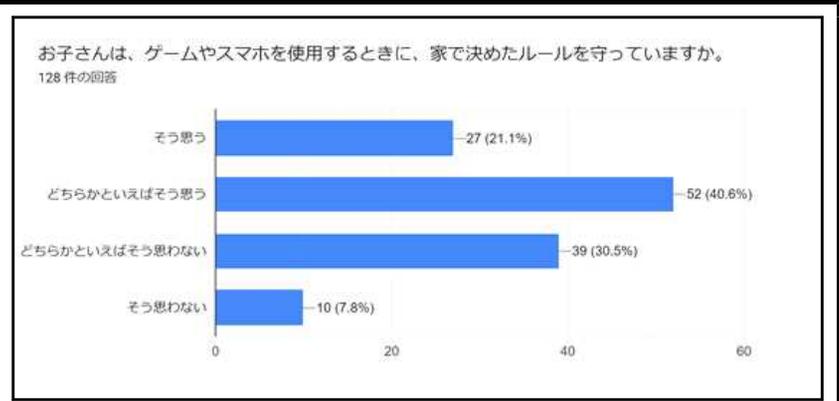
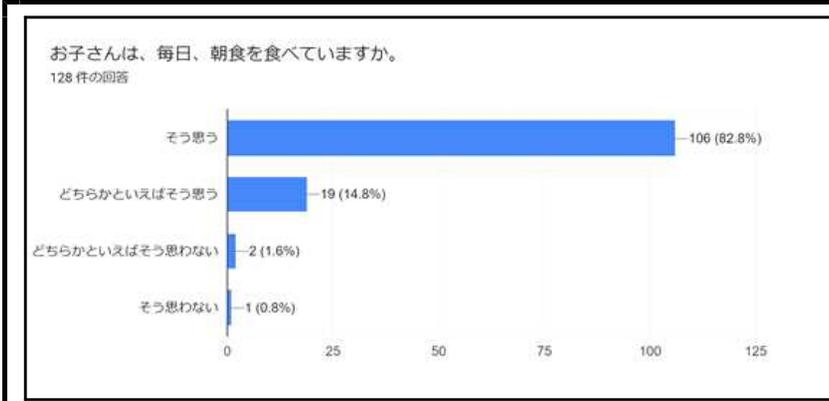
(6) 保護者アンケートの結果

アンケートの結果と教職員の自己評価を踏まえ、来年度の教育活動を進めて参ります。ご支援・ご協力をお願いします。



※学校外の活動における表彰については、学校に情報提供があったものを紹介させていただいております。





※学校外の活動における表彰については、学校に情報提供があったものを紹介させていただいております。